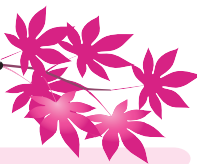


第4回志賀町文化祭




生涯学習
だより

【お問い合わせ】
志賀町教育委員会
生涯学習課
☎32-9350

「文化の日」の祝日にあわせ、第4回志賀町文化祭を次の日程で行います。

文化ホール会場では、3日（月・祝）に大ホールにおいて「式典」、「記念講演」、「芸能アトラクション」が予定されているほか、文化協会会員や、児童・生徒等による各種展示、婦人会・青年団による模擬店などが予定されています。

また、富来活性化センターでは「文化余技展」として、グループ教室生や、各種愛好グループによる作品の展示、お茶会などが予定されています。皆様お誘いあわせの上、ご来場をお待ちしています。

なお、町民方々の作品も募集しておりますので、出品ご希望の方は左記までお問い合わせください。

【問合せ先】
教育委員会生涯学習課
富来活性化センター
TEL 32-9350
TEL 42-0500

第4回志賀町文化祭

- ◇日程 11月1日（土）～3日（月・祝）
- ◇会場 志賀町文化ホール（各種展示、記念講演、芸能アトラクションなど）
富来活性化センター（文化余技展など）

記念講演会（入場無料）

- ◇日時 11月3日（月・祝）午後1時30分から（予定）
- ◇講師 三笑亭 夢之助 氏
- ◇略歴 北海道札幌出身。昭和24年生まれ。1983年真打昇進。新宿末広亭を始め、各寄席に出演すると共に年2回の独演会を国立演芸場で打ち、落語以外にも芸を広げ、司会、テレビのリポーター、ラジオなどに多数のレギュラーを持つ人気者。

落語芸術協会所属（三笑亭夢楽門下）



ジャパニテント 交流事業

今年で21回目を迎える、世界各国の留学生との交流事業（ジャパニテント）が行われました。

志賀町でのジャパニテントプログラムは、8月21日から24日までの3泊4日で、7カ国、10名の留学生を、10家族のホストファミリーの皆さんが受け入れてくださいました。

家族と離れ、異国で留学生生活を送っている参加者は、ホストファミリーとの暖かいふれあいに感動したようです。また、志賀町の美しい海や、緑豊かな自然、富来地区でのまつり、和太鼓や習字の体験など日本の文化にも触れていただきました。

ホストファミリーの方々も留学生との交流が貴重な体験となったようです。



流しそうめんで大喜び！

平成21年 志賀町成人式のお知らせ

新しい門出を祝して志賀町成人式を挙行政いたします

- とき 平成21年1月11日（日）
- ところ 能登ロイヤルホテル
- 対象 町内在住またはご出身の方で、今年度二十歳をむかえられる方（生年月日が昭和63年4月2日から平成元年4月1日までの方）
- ご案内 12月上旬に対象者の皆様にご案内をお送りします。対象者が町外へ転出している場合はご実家宛にご案内します。
- 問合せ先 志賀町教育委員会 生涯学習課 電話32-9350



昨年度成人式

海洋クラブ活動紹介

「B&G富来海洋クラブ事業」

7月28日(月)、能登リゾートエリア増穂浦海岸にて「平成20年度海洋性レクリエーション大会・クリーンフェスティバル」が開催されました。

参加者は、カヌーやバナナボートなど普段は触れることの出来ないマリンスポーツを体験しました。またシュノーケリングや海水浴で綺麗な海の大切さを学び、みんなで協力して海岸清掃を行いました。

このイベントは、B&G富来海洋クラブ会員を対象に開催しましたが、当日は交流会として参加していただいたB&Gなお海洋クラブ会員の皆さんとも、一日を通して楽しく過ごすことが出来ました。



B&G全国大会出場

「B&G財団助成事業」

8月21日(木)、東京辰巳国際水泳競技場で「2008B&G全国ジュニア水泳競技大会」が開催され、志賀町富来B&G海洋センターの育成コースより14名の選手が石川県代表として出場しました。全国22道府県から57海洋センター・1クラブの選手44名が出場して熱戦が繰り広げられました。

97の大会新記録が生まれた中、当町海洋センター所属の日高明允選手(志賀中2年)が、中学生男子50m自由形で大会記録を更新し第2位に入り、男子100m自由形でも第3位に入り、見事2種目で入賞を果たしました。



第3回 志賀町駅伝競走大会

駅伝参加チーム決定!

第3回志賀町駅伝競走大会を10月13日(月)体育の日に開催します。

スタートは9時30分に役場富来支所を出発し、ゴールの町陸上競技場を目指します。昨年の優勝は富来・稗造、準優勝は土田チームでした。

今年の優勝旗を勝ち取るのはどのチームでしょうか!沿道での声援を皆様よろしく願います。

なお、選手の伴走は、大会運営の支障や交通安全の妨げになりますので御遠慮ください。

◎参加チーム

- | | |
|----------|----------|
| ① 加茂・下甘田 | ② 熊野・上熊野 |
| ③ 西海・西浦 | ④ 増穂 |
| ⑤ 富来・稗造 | ⑥ 土田 |
| ⑦ 志加浦 | ⑧ 堀松 |
| ⑨ 高浜 | ⑩ 中甘田 |
| ⑪ 福浦 | |

※大会運営中、各中継所は大変混雑が予想されます。付近の皆様におかれましては、「ご迷惑をおかけしますが、円滑な大会運営にご協力をよろしく願います。」

◎お問い合わせはスポーツ振興室まで

TEL 321-1111 (内 353)

男女共同参画社会について

町では平成20年3月に志賀町男女共同参画行動計画を策定し、男女が互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会を目指しています。男女共同参画について、あらためて考えてみましょう。

○男女共同参画社会とは

「男女が社会の対等な構成員として、政治的、経済的、社会的、文化的利益を共に享受することができ、共に責任を担うべき社会」と定義されています。

○「参加」と「参画」は違う??

「参加」は仲間に加わることで、すでに作られた社会の様々な場に加わり活動することをいいます。

それに対し、「参画」は単に参加しているだけでなく積極的、自主的、主体的に参加することをいいます。それは自らの意思で社会の基盤づくりの計画段階から積極的に加わっていくことをいいます。

例えば団体や、グループでの地域活動では企画、計画等の立案段階から加わり、主体的に方針や意思決定にかかわり自身の意見を反映させていくという意味で使われています。



《詩のひろまり 秋の増刊号》

志賀歌会

リハビリをしているように暮しする吾を案ずる友も
リハビリ

今日までをいかに暮せり同窓の友との一夜語り
尽きず

カーテンを吹き上ぐ風に目がさめてミステリー開く
午後ひととき

力ある限り生きんと遅夏を今朝も蝉らははげしく
啼ける

五目ならべ孫と向き合い幾度そ一度も勝てぬ老いの
かなしさ

広辞苑ほどの重さにつらたえて文字の尊さ老の身
にしむ

寝つかれぬ夜に浮かびし母の顔逝く歳月の遙か彼方に
蕪木 芳子

雨の夜の体育館での盆踊りゆかた姿の男性輪に入り
山瑞千代子

切り抜きもはさめし我の日記帳九月に入りて丸く
ふくらむ

感謝して食べねばならぬとまだあつき初のおさんまに
笑顔の息子

次々と美しき桔梗も枯れゆくをみるに寂しきわが
姿かと

みどり子を抱きいるママに二歳児はスキスキしてと
哀願しおり

泉 広栄

東 操

吉崎てい子

坂井外志子

龍擧 澄子

竹内 愛子

田端 正敏

福島 信子

岩上 久枝

浦野タツ子

菅野タツ子

菅野タツ子

菅野タツ子

菅野タツ子

菅野タツ子

貝がら川柳社

空き瓶が山と積まれてビール腹

話す時あのねあのねの孫の癖

人の世は手練手管で腹を読む

ライバルの心読みかね迷う日々

一寸先読めぬ政治は怖いもの

新聞のまつさきに読む死亡欄

人の心読みすぎ前へ進めない

読後感後期高齢再自覚

天候を読んで漁師は船を駆る

老人は新聞を読み惚け防止

正信偈意味も解らず音読す

お経読みリンの余韻に朝開く

入選の新聞記事を廻し読む

表情を読んで刑事は追い詰める

西浦川柳会

秋風に風鈴揺れて音侘びし

何もかも秋には値上げ厳しいね

稲穂たれ道行く人に秋知らせ

刈れぬ稲秋の長雨猫あくび

日の本の春夏秋冬世界一

天高く黄金の波に安堵する

秋だなと思つ夜更けに肌布団

猛暑でもコオロギ鳴いて秋知らせ

食談の秋がうらめしダイエツト

さわやかで心落ち着く秋の風

味も良く旅情豊かな能登の秋

産着着せ健やか願うジジとババ

西尾 善春

吉村とし子

遠藤美朝子

坂野かほる

須磨ひろし

須曾 正子

山本 静香

木村 貞涼

小松 糸葉

木村よし子

坂下二三子

石田 雪路

前田 志津

小松 彰一

平島 凡

長田千枝子

川上 富子

西尾 海春

小松 康子

みやみさかし

高島 和子

赤 ふじ

窪 洋子

すまいさお

上田 利雄

田畑 幸子

健康と医院の中で電話する

目覚め時今日の健康願う歳

幼子の健やか笑顔に癒される

健やかに過ごす工夫も自分流

健やかで百歳までは確実だ

曾孫見て健やか願い笑顔いい

中畑 良則

林 ちよ子

古森 勝

芝山 照子

能登 秀雄

中屋アキ子

はまなす句会

露草の一と際映ゆる雨上がり

亡き友の思ひ出辿る盆の月

秋の夜や紅茶にしぼるレモンの香

稔り田に添ひて参道麓寺

法師蟬墓誌に刻みし父の文字

蓮の葉の緑のたうつ俄か雨

組板の音弾ませて今朝の秋

盆休み田舎馳走にやすらげり

青栗を眺めて走る奥能登路

秋風に髪なびかせて出勤す

送り出せばし門辺や鱗雲

句づまりの一と夜二た夜や虫の声

秋茄子を焼きて自足の老暮し

大島 朋子

中田 淑子

藤勝勇美子

坂下 豊子

淵端 三之

吉田 外江

北谷 芳子

土田エミ子

土田 清枝

裏田 弘美

土田まつい

細川ふじ子

鍋岡美智子

富来俳壇

風鈴の次の音を待つ静寂かな
肩車祭半てん力む孫
今日もまた黒ネクタイや夏終わる
さるすべり角を曲りて四十年
緑蔭にそつと置きたる一書かな
稲穂波果てに聞こゆる遠太鼓
たまわりし静かな朝の法師蝉
千年の源氏繻きもつ晩夏
甚年の板につきたる元校長
稲穂波その先にある能登の富士
ふるさとの風の色探る秋海棠
酒少しほしいと夫の晩夏かな
秋祭鎮守の森をふくらます
夜に唄ひ山車曳きゆきぬ夢の如

「門」土筆の会

達筆で病状届く秋の雲
遠蛙背に村を去る人のゐる
秋立ちて雲の動きに愁思かな
庭に来て何せきたてる法師蝉
手作りの人形あまた盆供養
秋厚し金切声の洗濯機
一才もねじり鉢巻秋祭

俳句・川柳

飛行機雲に目をうつばわれて秋澄めり

須广ひろし
森下いわお

富地 重内

服部 頼次

丸田 歩拙

川田まさを

大乗・春風

安井ふさの

長根尾いくえ

須广ひろし

浅野 照子

藤沢 鶴女

新沢 和子

小島 史子

深美 白鳥

堀内 一也

高岩みつる

堀 綾子

池田 玲子

前川美代子

安田紀美恵

浅子

短歌

抱きたての胡瓜トマト届けたく嫁ぎの姑に電話する
朝 みさの
あの頃は「お父さん好き？」と聞けたのに今じゃ
言えない子はもう大人 柏谷 保之
わが在所にも古墳ありとは何処にや町史繰り見ゆ
母娘も夏研 松本理希三
じいちゃん病気娘二人の真心であつかい受けて
元気になりぬ 千里
あまりにも長き残暑に老の身にむち打ちて待つ
秋のさわやか 智子

詩・散文

「萩の苔」

榎田 純三

九月第一土曜日 少し早い秋祭り
五本の「上り旗」が閃く
春祭りの頃に株分け・移植した
「三花壇」の源平萩
盆過ぎる頃には 一尺程の枝が五本
今 一米にまで伸びて七八本
朝顔のつるに巻き付かれ
青紫の幾つもの花を支えて
柔らかな早朝の風枝先を揺らして
白い小粒の沢山の苔を膨らませて
食卓の小さなジョッキに差してみる
萩の苔を手にして
家族・集落 そして祖国と地球の
平安を「氏神様」に祈りたい

【コラム】

西浦川柳会 代表 西尾 善春

紙と鉛筆さえ有れば楽しめると言う事でこの世界に入ったことを覚えていきます。川柳も俳句短歌と共に短い文学詩ですから最低辞書を横に置き当て字、誤字を避け十七文字の中に収める工夫が大切です。人生折り返し地点を過ぎると他人の痛みもわかり世の中にはこんな苦難や、こんな生き方も有ったのか、それを句に取り入れ五七五の短い言葉に笑いや、切なさ、感性など、あなたの心の扉をノックするそれが川柳かと思えます。川柳作りの一つの方法として多作、多読が有ります。初めから上手な人など居ませんそこで一句
運がない ぼやく人ほど 努力せず と言う川柳も有ります。女性、男性の垣根もなく月に一度の勉強会もあり、どなたでも句作りしましょう。西浦川柳会もありますので老、若共にご入会歓迎します。

文芸教室 作品募集

「文芸教室」に掲載する作品を募集しています。紙面の制約がありますので、短歌・俳句・川柳については一首一句（詩については二百字以内）として送付ください。

次回の文芸教室増刊は1月号の予定です。皆様の作品も募集しています。

送り先／〒925-0019 志賀町末吉千古1番地1
志賀町教育委員会
生涯学習課広報担当まで
※毎月8日までにお送りください。